

小児科

小児腫瘍科

TEL 022-717-7878(外来)

科長 笹原 洋二



診療科WEB



外来担当医表

小児の血液腫瘍、固形腫瘍、脳腫瘍、良性血液疾患、原発性免疫不全症、難治性ウイルス感染症などを小児科各診療グループとともに診療しています。小児がんの治療は、全国規模の治療グループスタディへ参加し治療成績向上を目指しています。難治性疾患に対しては造血幹細胞移植やCAR-T療法を併用した治療を行い、個別化医療センターを介したがんゲノム医療や分子標的療法も行っています。良性疾患や慢性活動性EBウイルス感染症で造血幹細胞移植が必要な場合は、RIST(強度低減前処置による造血幹細胞移植)を施行し、長期的な生活の質(QOL)の向上を目指しています。

当院は東北地区で唯一の小児がん拠点病院に指定されています。小児腫瘍センターを組織化し、小児がん相談室やAYAルーム・院内学級を設け、セミクリーン域と専用プレイルームを設置して長期入院環境を整備しています。看護師・臨床心理士・MSW・院内学級教師・CLS(チャイルドライフスペシャリスト)・保育士の多職種スタッフが連携して相談支援や復学支援、長期フォローアップ外来を通じて、入院生活や治療後の長期的サポートも行っています。

主な対象疾患

小児血液腫瘍(白血病、悪性リンパ腫、ランゲルハンス細胞組織球症など)／小児固形腫瘍(神経芽腫、肝芽腫、腎芽腫、横紋筋肉腫、骨腫瘍、性腺腫瘍など)／小児脳腫瘍(髄芽腫、胚細胞腫瘍、神経膠腫など)／小児良性血液疾患(再生不良性貧血、先天性造血不全症、免疫性血小板減少症、先天性血小板減少症など)／原発性免疫不全症(重症複合免疫不全症、Wiskott-Aldrich症候群、自己炎症性疾患など)／難治性ウイルス感染症(慢性活動性EBウイルス感染症、臓器移植後ウイルス感染症など)
を、関連診療科と連携しながら診療致します。